

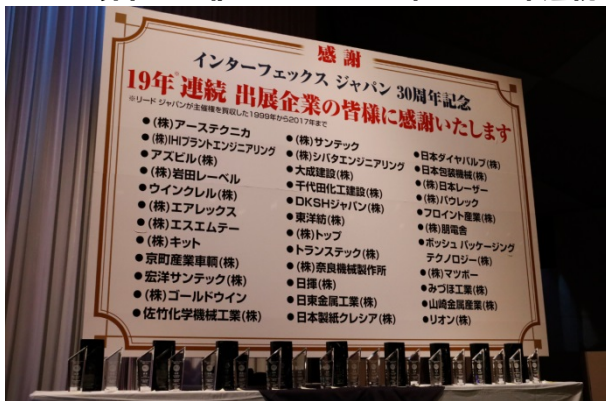
医薬品  
 化粧品 洗剤  
 研究・製造技術展

皆様の積極的なご出展・ご来場のお蔭をもちまして、インターフェックス ジャパンはこの度、30周年を迎える事ができました。事務局一同より心から感謝申し上げます。

**連続出展企業 表彰**

弊社が主催者となった1999年から19年間連続してご出展頂いている企業様が開催初日の『レセプションパーティー』にて表彰されました。

▼弊社が主催となった1999年から19年連続でご出展頂いている企業様が表彰される様子▼


**30周年 功労者 表彰**

永年に渡りセミナー企画委員をお務め頂いた方を「功労者」として表彰させていただきます。

- 永井 恒司 様 (公財)永井記念薬学国際交流財団 理事長
- 岡田 弘晃 様 東京薬科大学 名誉教授
- 高嶋 武志 様 株式会社パウレック 取締役会長
- 伏島 靖豊 様 フロイント産業株式会社 名誉会長
- 大塚 史久 様 元 大成建設(株)
- 鈴木 正隆 様 元 IHプラントエンジニアリング(株)

## ■【祝辞】永井恒司 様より

インターフェックス30周年記念のパーティにお招きいただき大変感激しております。一言お祝いを申しあげさせていただきます。

私は、今から50年ほど前アメリカ留学中に、ディズニーランドへ行ったことがあります。そのスケールの大きさにびっくりしたのは当然で、もっと驚いたのは、当時既にそこにPh.D.(博士号取得技術者)が16人も働いている、と聴かされたことです。

今はもっと沢山居るでしょう。つまり、Walt Disneyは子供だましの遊園地を作るつもりはなく、最高の科学技術を駆使して、大人も充分に楽しめる、本物の娯楽の殿堂を作ろうとして事業を起こしたと察しました。それが故に、映画をはじめ次々に大ヒット作を生む成功を果たしたのだと思います。

私が、初めて貴社の石積忠夫社長さんから、このプロジェクトの声をかけられたとき、これから手がける見本市は、全く新しいスタイルのもの、つまり従来型の見本市のように、網羅的に商品を表示するのではなく、ダイナミックな流通・製品開発を展開する場としての見本市を作ろうとする意気込みが感じ取れました。まさにWalt Disneyの事業展開の理念に相通ずるものを感じ、私はお手伝いさせていただくことにしました。そしてこれが年々成長路線をたどることができました。

2012年からは後任を岡田弘晃(ひろあき)先生にお願いすることにしました。岡田先生は、私の先輩で、敬愛する井口定夫先生の門弟であり、皆様ご存じの、90日に一回注射のルプロンデポの開発者で、国際的に著名な創薬科学者であります。岡田先生は、このインターフェックスを高いレベルに盛り上げて下さり、喜ばしい限りでございます。

終わりに、今後のインターフェックスの益々の発展を祈念して、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

2017年6月28日

(公社)日本薬剤学会 名誉会長

(公財)永井記念薬学国際交流財団 理事長

永井恒司(ながいつねじ)



# 引き続き本展をご愛顧のほど よろしくお願いいたします。

インターフェックス ジャパン  
事務局 一同